



わかみどり

<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp>



平林小学校 校長 遠藤 直人

令和7年度が始まり、1ヶ月が過ぎました。「自律と多様性」を育むための取組の一つとして、本年度より平林小学校では学級担任制（1クラスに1人の担任）から、チーム担任制（学年部に3～5人の担任）へ移行しました。各学年部が1週間ごとに担当学級をローテーションしています（低学年部は運動会後からスタート）。各学年部が順調なスタートをしており、保護者の皆様からも肯定的なご意見をいただいておりますが、初めてのシステムでもあり、不安な点やご質問もいくつかいただいております。私の説明不足を痛感しております。お詫び申し上げるとともに、今後も丁寧な説明を続けて参ります。紙面の関係で、今回ですべてにお答えできませんが、何回かに分けてお答えしていきます。

Q：各学年ごとにリーダーの先生を決めて、引っ張ってくれるような体制でないと、まとまった指導ができないのでは？

A：本校ではチーム担任制のもと、各学年部に1名「キャップ（学年リーダー）」を配置し、指導方針の統一や情報共有を図りながら組織的に指導を行っています。（低学年部：
中学年部：
・高学年部：
）

Q：多くの先生に見てもらえることはありがたいが、すべての先生が一人ひとりの個性を把握するのは難しいのでは？

A：信頼関係は時間をかけて築かれるものであり、一人の先生との継続的な関わりが、子どもにとって安心感につながることも多くあります。本校ではそうした子どもたちの心の動きにも配慮し、単なる「交代制」ではなく、軸となる教員（キャップ）を中心にしながら、複数の教員が連携し、継続的な視点で関わる体制を取っています。

Q：チーム担任制のデメリットも教えてほしい。

A：チーム担任制をすでに実施している学校では、「情報共有の難しさ」が課題としてあげられています。児童一人ひとりの細かな様子や背景を、複数の教員間でしっかり共有・把握しておかないと、支援や対応にずれが生じる可能性があります。平林小学校では以下のような対応策を実施しています。

- ① 毎日の打ち合わせや連絡記録の共有を徹底し、教員間で児童の様子を細かく伝達しています。（水曜日を全校5時間授業にし、放課後を情報交換の時間として確保しています）
- ② 特に配慮が必要な児童については、支援計画や観察記録をチームで共有し、誰が見ても同じ対応ができるようにしています。
- ③ ICT ツールを活用して、即時かつ確実に情報が伝わる仕組みを構築しています。

引き続き、下記のリンク・またはQRコードからご意見・ご質問をフォームでお聞かせください。お電話等でも随時、お待ちしております。

<https://forms.gle/hQwLNPLjjAzwkV57>



登下校への付き添いありがとうございました

4月最初の登下校の付き添いを民生委員の皆様、地域の方々がボランティアとして参加してくださいました。子どもたちの見守りへのご協力ありがとうございました。

いきいきと学校生活を送っています

先日の学習参観、PTA 総会、学年懇談会には多数の保護者の皆様からご来校いただきありがとうございました。さて、令和7年度がスタートして一か月が経ちました。どの学年もいきいきと学校生活を送っています。今月は運動会もあり、児童の活躍場面がさらに増えていきます。うちの方からも「がんばってるね」の一言をかけていただきますと幸いです。



1年生 交通安全教室の様子



2年生 国語の学習



3年生 給食の様子



4年生 図工の学習



5年生 音読の様子



6年生 給食準備のお手伝い

タブレット端末の破損・故障時の対応について 市教育委員会より

村上市教育委員会が、タブレット端末の破損・故障時の対応（弁償の対応）等の見直しを下記のように行ったとの連絡がありましたのでお伝えします。

<見直しの要点>

- ①故意や重大な過失、紛失等はこれまでどおり弁償の対象となる。
- ②これまで2回目まで全額弁償だったが、2回目は1/2の額、3回目以降全額とする。
- ③学校の管理下における破損等については状況をよく確認したうえで原則カウントしない。

タブレット端末は、学習における必要不可欠なツールとなりました。学校でも引き続き丁寧に扱うよう指導していきます。また、ご家庭でも丁寧に扱うようお声がけをお願いいたします。

職員紹介

5月1日より新たに介助員として 〇〇 氏が着任いたしましたので紹介します。これで計21名の職員となりますが、よろしくお願いいたします。

*行事予定につきましては、teturuにて配信される毎月の行事予定をご参照ください。

